



中部電力パワーグリッド

# 受変電設備に関する技術サポート

対象設備：電力ケーブル

# CVTケーブル波乗り現象のトータルサポート

背景・目的

波乗り現象によりケーブルが移動した場合、元の位置まで引き戻し、拘束装置により再びの波乗り現象による移動を抑制するために拘束装置を取付ける必要があります。

当社では、それらの対策技術および監視装置を開発しました。

## 波乗り現象とは

地下管路内に布設されたケーブルが、地上を走行する車両の影響により移動する現象。



CVTケーブル引戻し装置使用状況



波乗り現象の概念図

特長

### 引戻し装置

- ケーブルへの影響のない範囲で、**最大限の引き戻し力を印加。**
- ケーブルへの**面圧をほぼ均等**にすることで、ケーブルへの負担を最小限化。

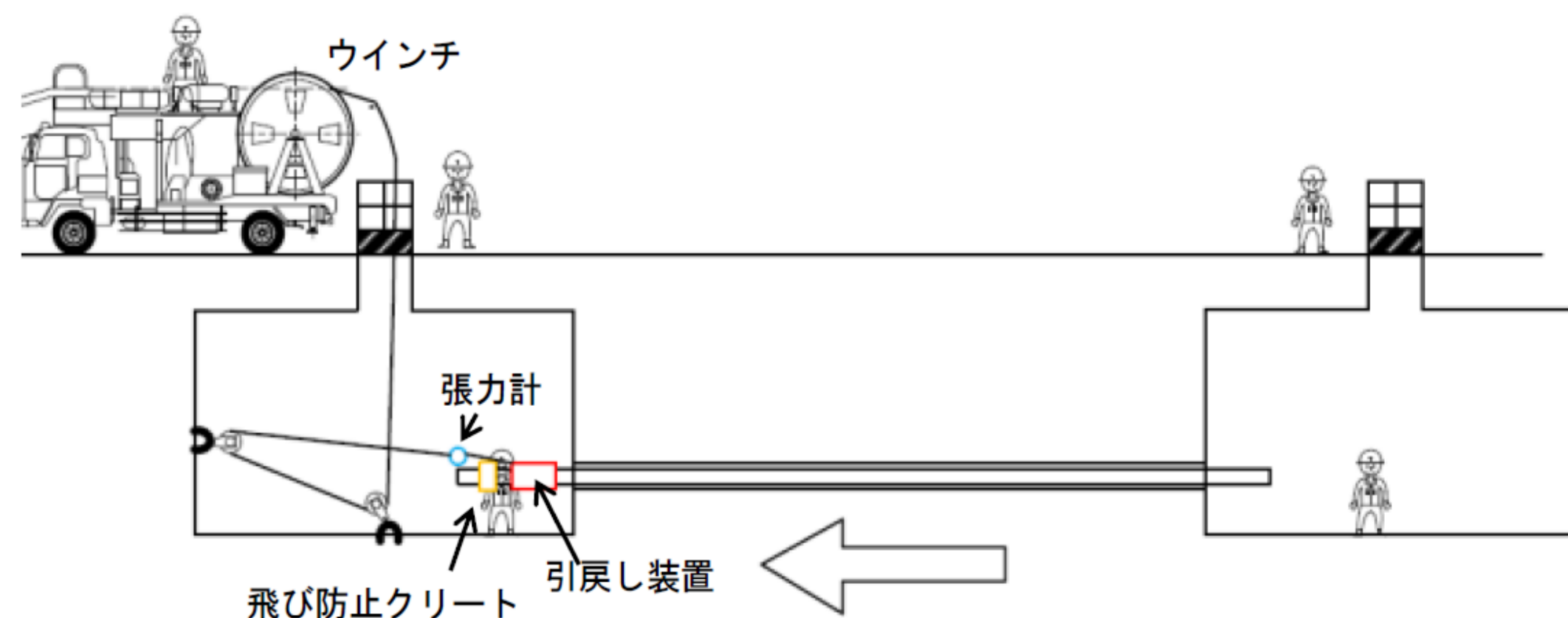
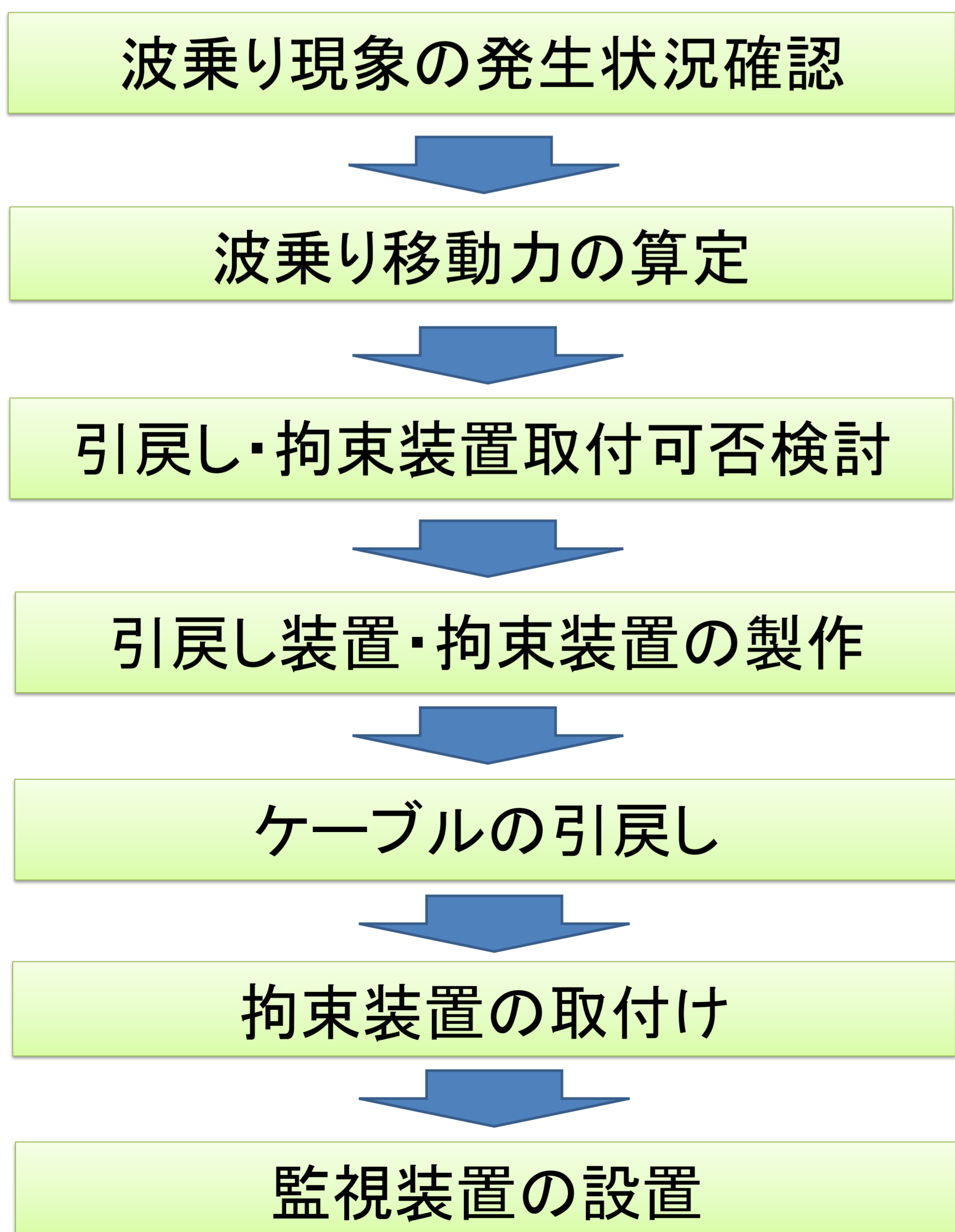
### 拘束装置

- **従来品の2倍の拘束力を発揮**するため、**狭あいなマンホールでも高い拘束力を確保。**
- ケーブルに加わる**面圧は従来品と同等**のため、ケーブルへの負担は最小限。

### 監視装置

- マンホール内へ入ることなく、**地上にて波乗り移動情報を取得。**  
(監視装置の詳細については別リーフレットをご参照ください。)

提案内容



CVTケーブル引戻し装置



引戻し装置使用概要図



拘束装置

増摩剤塗布状況



展示者のひとこと

当技術は、波乗り現象が発生してしまった場合の対策ですが、当社では膨大なケーブル設備を設計した実績から波乗り現象が極力発生しないような設備設計も可能ですので、新規設備の設計に関してもぜひご相談ください。

お問い合わせ先: (Tel) 052-740-6975

(E-mail) Souhenden.Gijyutsu-support@chuden.co.jp